

第8期「津山市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」策定及び

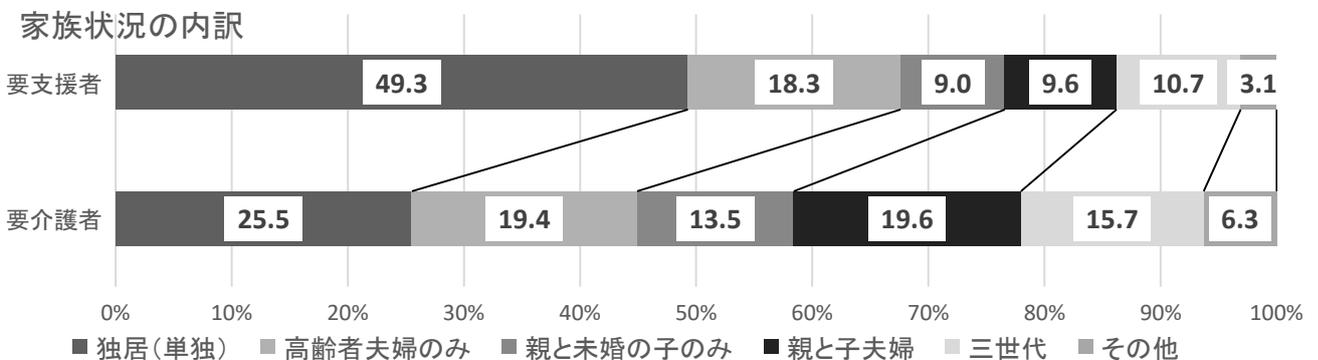
当日資料3

地域包括ケアシステムに反映するためのアンケート調査集計結果

～津山市地域包括支援センター職員26名分 + 居宅介護支援事業所介護支援専門員75名分～

質問1 家族状況の内訳(9月サービス利用者)

	要支援者		要介護者		全体	
	世帯数	割合	世帯数	割合	人数	割合
独居(単独)	318	49.3	430	25.5	748	32.1
高齢者夫婦のみ	118	18.3	327	19.4	445	19.1
親と未婚の子のみ	58	9.0	227	13.5	285	12.2
親と子夫婦	62	9.6	330	19.6	392	16.8
三世帯	69	10.7	265	15.7	334	14.3
その他	20	3.1	106	6.3	126	5.4
合計	645	100.0	1,685	100.0	2,330	100.0



- ・親と未婚の子のみの世帯のうち、子が働いていない(引きこもり傾向の)世帯は
要支援者5世帯、要介護者34世帯、合計39世帯……全体(2,330世帯)の1.7%
- ・親と子夫婦の世帯のうち、全員が65歳以上の世帯は
要支援者13世帯、要介護者108世帯、合計121世帯……全体(2,330世帯)の5.2%

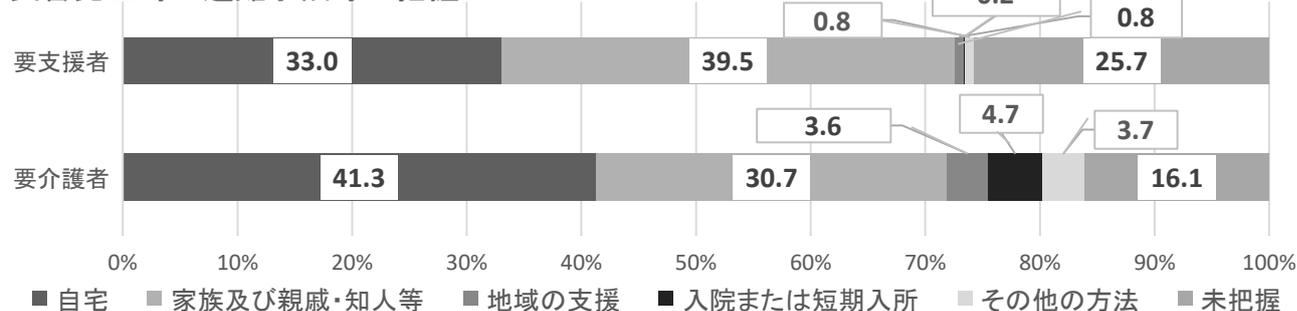
質問2 (生活に支障が出るほどの)ごみ出しや掃除ができていないと感じる世帯

要支援者7世帯、要介護者40世帯、合計47世帯……全体(2,330世帯)の2.0%

質問3 災害(大雨等の風水害を想定)発生時の避難手段等の把握について

	要支援者		要介護者		全体	
	世帯数	割合	世帯数	割合	人数	割合
自宅	213	33.0	674	41.3	887	38.9
家族及び親戚・知人等	255	39.5	501	30.7	756	33.2
地域の支援	5	0.8	59	3.6	64	2.8
入院または短期入所	1	0.2	76	4.7	77	3.4
その他の方法	5	0.8	61	3.7	66	2.9
未把握	166	25.7	263	16.1	429	18.8
合計	645	100.0	1,634	100.0	2,279	100.0

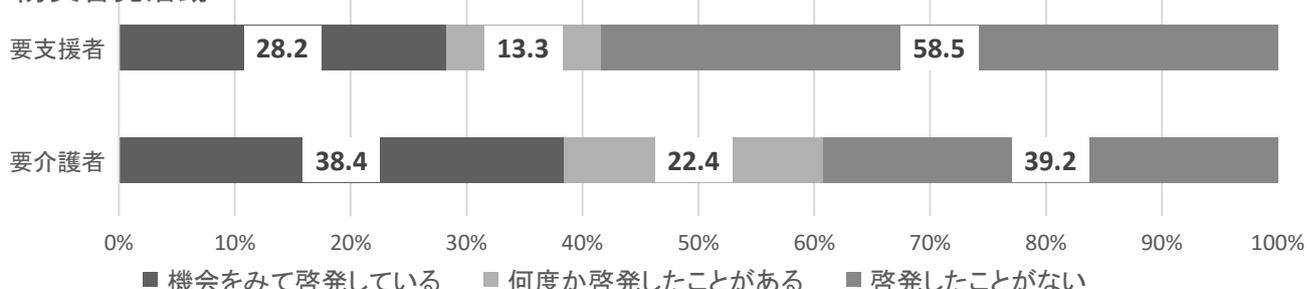
災害発生時の避難手段等の把握



質問4 防災啓発活動について

	要支援者		要介護者		全体	
	世帯数	割合	世帯数	割合	人数	割合
機会をみて啓発している	182	28.2	582	38.4	764	35.4
何度か啓発したことがある	86	13.3	339	22.4	425	19.7
啓発したことがない	377	58.5	594	39.2	971	45.0
合計	645	100.0	1,515	100.0	2160	100.0

防災啓発活動



質問5 コロナ禍のサービス利用状況

	要支援者 164人中		要介護者 521人中		全体 685人	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
訪問サービス利用者						
うち、断った人	7	4.27	4	0.77	11	1.6

	要支援者 276人中		要介護者 1,123中		全体 1,399人	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
通所サービス利用者						
うち、自粛した人数	30	10.87	111	9.88	141	10.1

質問6 コロナ禍のサービスの利用状況変化

	要支援者		要介護者		全体	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
変わった	10	2.1	103	6.4	113	5.4
変わらない	460	97.9	1,506	93.6	1,966	94.6
合計	470	100.0	1,609	100.0	2,079	100.0

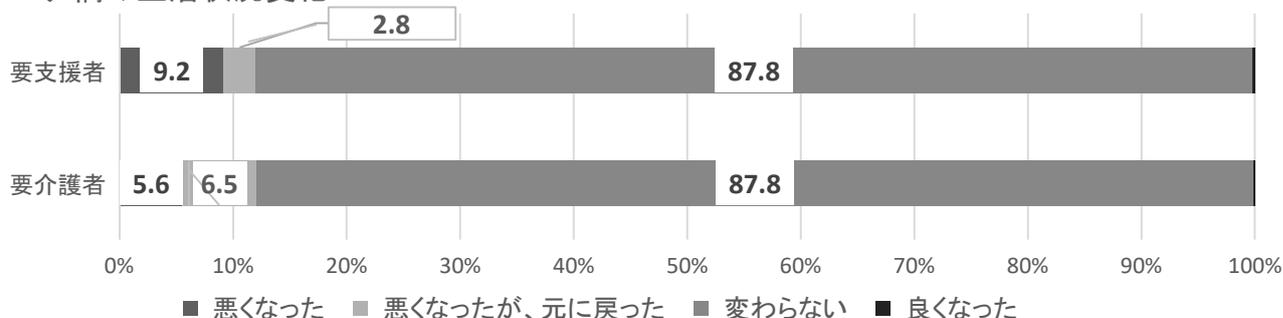
- ・サービス利用状況が変わった方は5.4%、変わらなかった方は94.6%
- ・要介護者の方がサービス利用状況が変わった方が多い。要支援者2.1%、要介護者6.4%
- ・サービス利用状況の変化

通所サービスを訪問サービスに切り替えた。短期入所を増やした。
 家族が帰省できなくなり、(介護)サービスを増やした・変えた。
 通所サービス事業所を変更した。事業所が自粛した。
 家族が帰省するためサービスを中止した・中止された。

質問7 現在の状況は、コロナ禍以前の1月頃に比べて

	要支援者		要介護者		全体	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
悪くなった	43	9.2	85	5.6	128	6.4
悪くなったが、元に戻った	13	2.8	99	6.5	112	5.6
変わらない	411	87.8	1,340	87.8	1,751	87.8
良くなった	1	0.2	2	0.1	3	0.2
合計	468	100.0	1,526	100.0	1,994	100.0

コロナ禍の生活状況変化



質問8 コロナ禍の4・5月頃、「要支援者や介護者(家族等)の生活がコロナで変わった。」と感じたことは
包括支援センター職員26名・介護支援専門員75名(複数回答可)

※色付きは、支援者の半数以上が感じた項目

悪くなった点(複数回答)

	本人		家族・介護者	
	要支援	要介護	要支援	要介護
買い物へ行く回数が減った。	17	38	6	39
運動する場へ行くのを控えた。	19	56	2	26
近所へ出かけることが減った。	13	41	2	26
遠くへ出かけること(旅行など)が減った。	14	43	8	64
通院・受診回数が減った。	12	49	0	31
意に反して太った、あるいは痩せた。	3	6	1	7
整形的な身体の不調がひどくなった。	5	16	0	10
内科的な身体の不調がひどくなった。	2	7	0	3
夜眠れなくなった。	3	9	0	4
気力が低下した。	10	34	1	13
気分がすぐれないことが多くなった。	7	19	1	17
物忘れすることが増えた。	7	18	0	4
同居家族との時間が増え、負担になった。	2	19	4	35
他者との交流が少なくなった。	23	55	5	44
その他	2	7	0	6

良くなった点(複数回答)

	本人		家族・介護者	
	要支援	要介護	要支援	要介護
自宅でもよく運動するようになった。	3	5	1	5
自宅での楽しみが増えた。	0	2	0	0
うがいや手洗いをするようになった。	11	45	4	46
風邪をひかなくなった。	0	11	0	7
同居家族との時間が増え、気分が良くなった。	0	3	0	1
お金を使うことが少なくなった。	3	12	0	6
その他	0	3	0	0

第8期「津山市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」策定及び

地域包括ケアシステムに反映するためのアンケート

枠内に、令和2年9月30日時点の状況をご記入ください。【津山市民対象】

●家族状況

質問1 家族状況の内訳(9月サービス利用者) 夫婦で利用の場合は1世帯でカウント

- (1) 独居(単独)
- (2) 高齢者夫婦のみ(65歳以上の夫婦1組の世帯)
- (3) 親と未婚の子のみ
 - (3)-a そのうち、子が働いていない(ひきこもり傾向の)世帯
 具体的な年齢 (親 歳、子 歳) (親 歳、子 歳)
 (親 歳、子 歳) (親 歳、子 歳)
- (4) 親と子夫婦
 - (4)-a そのうち、全員が65歳以上
- (5) 三世代
- (6) その他(具体的に)

1		世帯
(1)		世帯
(2)		世帯
(3)		世帯
(3)-a	()	世帯 ≤ (3)
(4)		世帯
(4)-a	()	世帯 ≤ (4)
(5)		世帯
(6)		世帯

(1)から(6)の合計世帯数=1の世帯数

質問2 (生活に支障が出るほどの)ごみ出しや掃除ができていないと感じる世帯 () 世帯

●災害関連

質問3 災害(大雨等の風水害を想定)発生時の避難手段等の把握について(9月サービス利用者)

- (1) 自宅にとどまり安全を確保する予定
- (2) 家族及び親戚・知人等の支援により避難する予定
- (3) 避難行動要支援者名簿に同意しており、地域の支援を受ける予定
- (4) 入院または短期入所する予定
- (5) その他の方法により、避難する予定。
- (6) 未把握

(1)		世帯
(2)		世帯
(3)		世帯
(4)		世帯
(5)		世帯
(6)		世帯

(1)から(6)の合計世帯数=1の世帯数

質問4 防災啓発活動について(9月サービス利用者)

※防災啓発活動・・・災害時のリスク確認、食料・飲料水等の生活必需品、燃料その他の物資の備蓄・調達等を含む

- (1) 機会をみて啓発している。
- (2) 何度か啓発したことがある。
- (3) 啓発したことがない。

(1)		世帯
(2)		世帯
(3)		世帯

(1)から(3)の合計世帯数=1の世帯数

●新型コロナウイルス(以下「コロナ」と言う。)関連

質問5 コロナ禍のサービス利用状況(令和2年4月頃のサービス利用者)

- (1) 訪問サービス利用人数
 - そのうち、コロナが原因でサービスを断るようになった人数
- (2) 通所サービス利用人数
 - そのうち、コロナが原因で、サービスを自粛するようになった人数

5		人
(1)		人
	()	人 ≤ (1)
(2)		人
	()	人 ≤ (2)

(訪問サービス、通所サービスを両方利用している方は両方に記入)

質問6 (令和2年4月頃のサービス利用者)

- (1) サービスの利用状況が変わった。
 ・ 通所サービスを訪問サービスに切り替えた。
 ・ 短期入所日数が増えた。
 ・ 家族が帰省できなくなり、代替サービスを増やした。
 ・ その他 (具体的に)
- (2) サービスの利用状況は変わらない。

(1) 人
 () 人 ≤ (1)
 () 人 ≤ (1)
 () 人 ≤ (1)

(2) 人
 (1)と(2)の合計人数=5の人数

質問7 現在の状況は、コロナ禍以前の1月頃に比べて

- (1) 生活は悪くなった。
 (2) 生活は悪くなったが、元に戻った。
 (3) 生活は変わらない。
 (4) 生活は良くなった。

(1) 人
 (2) 人
 (3) 人
 (4) 人

(1)から(4)の合計人数=5の人数

質問8 コロナ禍の4・5月頃、包括支援センター職員として「要支援者や介護者(家族等)の生活がコロナで変わった。」と感じたことは (該当箇所には○をお願いします、複数回答可)

《悪くなった面》

- (1) 買い物へ行く回数が減った。
 (2) 運動する場(デイサービス・こけない体操・グランドゴルフなど)へ行くのを控えた。
 (3) 近所へ出かけること(散歩など)が減った。
 (4) 遠くへ出かけること(旅行など)が減った。
 (5) 通院・受診する回数が減った。
 (6) 意に反して太った、あるいは痩せた。
 (7) 整形的な身体の不調(腰痛・下肢痛・膝痛など)がひどくなった。
 (8) 内科的な身体の不調(高血圧・動悸・息切れなど)がひどくなった。
 (9) 夜眠れなくなった。
 (10) 気力が低下した。
 (11) 気分がすぐれないことが多くなった。
 (12) 物忘れすることが増えた。
 (13) 同居家族と過ごす時間が増え、負担になった。
 (14) 他者(別居家族を含む)との交流が少なくなった。
 (15) その他(具体的に)

	要介護者	介護者(家族等)
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		
(6)		
(7)		
(8)		
(9)		
(10)		
(11)		
(12)		
(13)		
(14)		
(15)		

《良くなった面》

- (1) 自宅でよく運動するようになった。
 (2) 自宅での楽しみが増えた。
 (3) うがいや手洗いをするようになった。
 (4) 風邪をひかなくなった。
 (5) 同居家族と過ごす時間が増え、気分が良くなった。
 (6) お金を使うことが少なくなった。
 (7) その他(具体的に)

(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		
(6)		
(7)		